

# 2007年9月期 決算説明資料

2007年11月19日

(改訂:2007年12月11日)



# 目次

• 連結損益計算書	2P	• 化学品事業	
• 貸借対照表比較	3P	①燃料電池セパレータ	14P
• セグメント別売上高	4P	②「カルボジライト」	15P
• セグメント別営業利益	5P	③電気二重層キャパシタ	16P
• 繊維事業	6P	• 日清紡グループの製品(1)～(4)	17P
• ブレーキ事業	7P		
• 紙製品事業	8P		
• 化学品事業	9P		
• エレクトロニクス事業	10P		
• 不動産事業	11P		
• その他	12P		
• 通期予想	13P		

# 連結損益計算書

(百万円)

	2007年9月期	2006年9月期	前年同期比	増減率(%)	主な増減内容
売上高	158,935	155,710	+3,224	2.1	(※)繊維減△624、ブレーキ増2,195、紙増1,379、化学品増869、エレクトロニクス減△1,550、不動産増6、その他増949
営業利益	6,407	6,466	△58	△0.9	繊維減△617、ブレーキ増812、紙減△91、化学品増344、エレクトロニクス減△514、不動産増44、その他増56、全社費用増△93
経常利益	9,280	8,449	+830	9.8	受取利息・配当金増397、持分法投資利益増236
特別損益	748	1,018	△269		固定資産売却益(土地等)減△1,588、投資有価証券売却益増133、特別退職金減1,375、棚卸資産整理損増△500
税引前利益	10,028	9,467	+561	5.9	
-) 法人税等	2,545	2,844	△298		
-) 少数株主利益	742	1,211	△469		CHOYA△444(△292→152)新日本無線△195(△333→△138)セロンオートモーティブ+154(△427→△581)
当期純利益	6,741	5,411	+1,329	24.6	

※売上高の主な増減要因

(減少)CHOYAの不振△592、日清紡繊維事業の不採算品整理縮小△2,495、新日本無線のマイクロ波応用製品減少△1,260  
(増加)海外のブレーキ好調+2,468、プラスチック成形加工(ファン等)好調+1,393

## 貸借対照表比較

(百万円)

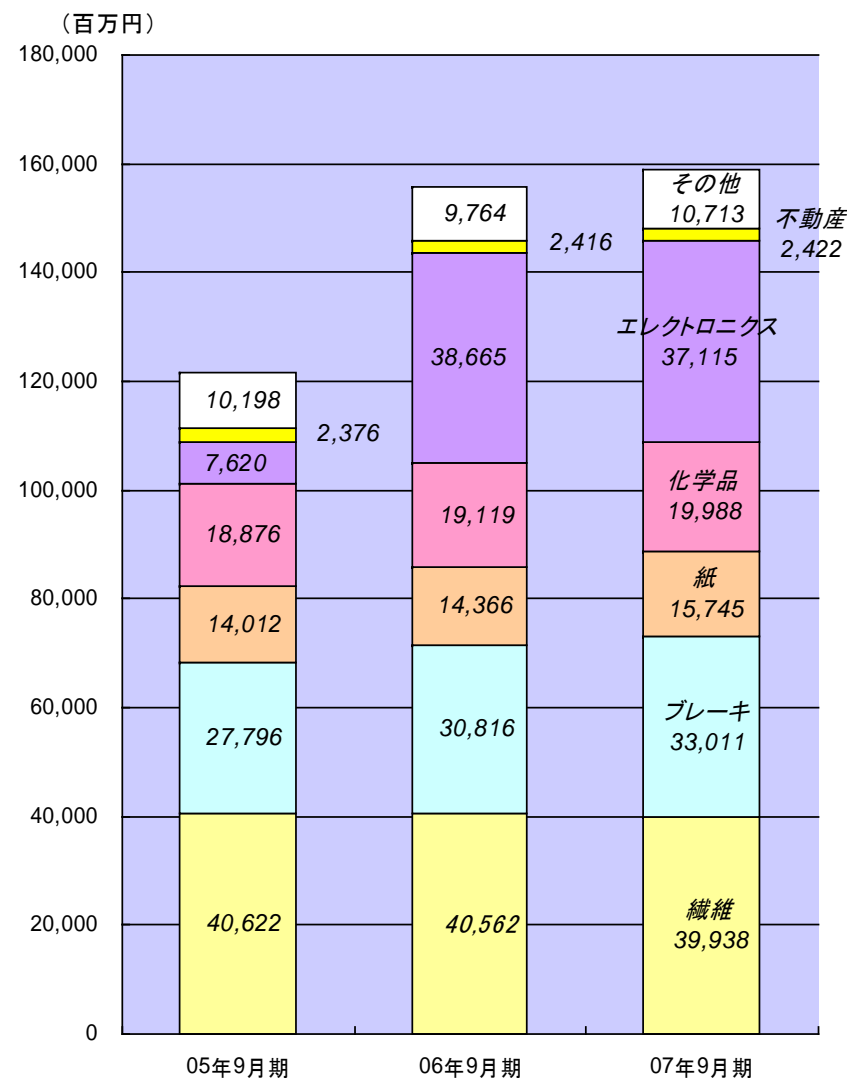
(資産の部)	2007年9月期	2007年3月期	増 減	主な増減内容
棚卸資産	56,305	52,689	+3,616	
有形固定資産	123,134	121,904	+1,229	新規連結610、取得10,557、償却△7,521、除却売却△4,154、減損0、その他1,738、
投資有価証券	155,999	168,142	△12,143	評価差益減△13,817
(負債の部)	2007年9月期	2007年3月期	増 減	主な増減内容
短期借入金 <sup>※</sup>	55,098	47,148	+7,949	日清紡短期借入増4,000、CP増6,000
長期借入金	5,329	5,917	△588	海外ブレーキ子会社減△487
繰延税金負債	34,010	39,772	△5,762	有価証券評価益減に伴う減
(純資産の部)	2007年9月期	2007年3月期	増 減	主な増減内容
その他有価証券 評価差額金	53,072	61,225	△8,152	有価証券評価益減に伴う減
自己株式	△5,721	△559	△5,162	(自己株式保有数: 4,524千株)

※…短期借入金にはCP、一年内返済の長期借入金を含む。

# セグメント別売上高

	(百万円)					
	2005年 9月期	構成比 (%)	2006年 9月期	構成比 (%)	2007年 9月期	構成比 (%)
繊維	40,622	33.4	40,562	26.0	39,938	25.1
ブレーキ	27,796	22.9	30,816	19.8	33,011	20.8
紙	14,012	11.5	14,366	9.2	15,745	9.9
化学品	18,876	15.5	19,119	12.3	19,988	12.6
エレクトロニクス	7,620	6.3	38,665	24.8	37,115	23.4
不動産	2,376	2.0	2,416	1.6	2,422	1.5
その他	10,198	8.4	9,764	6.3	10,713	6.7
売上高計	121,504	100	155,710	100	158,935	100

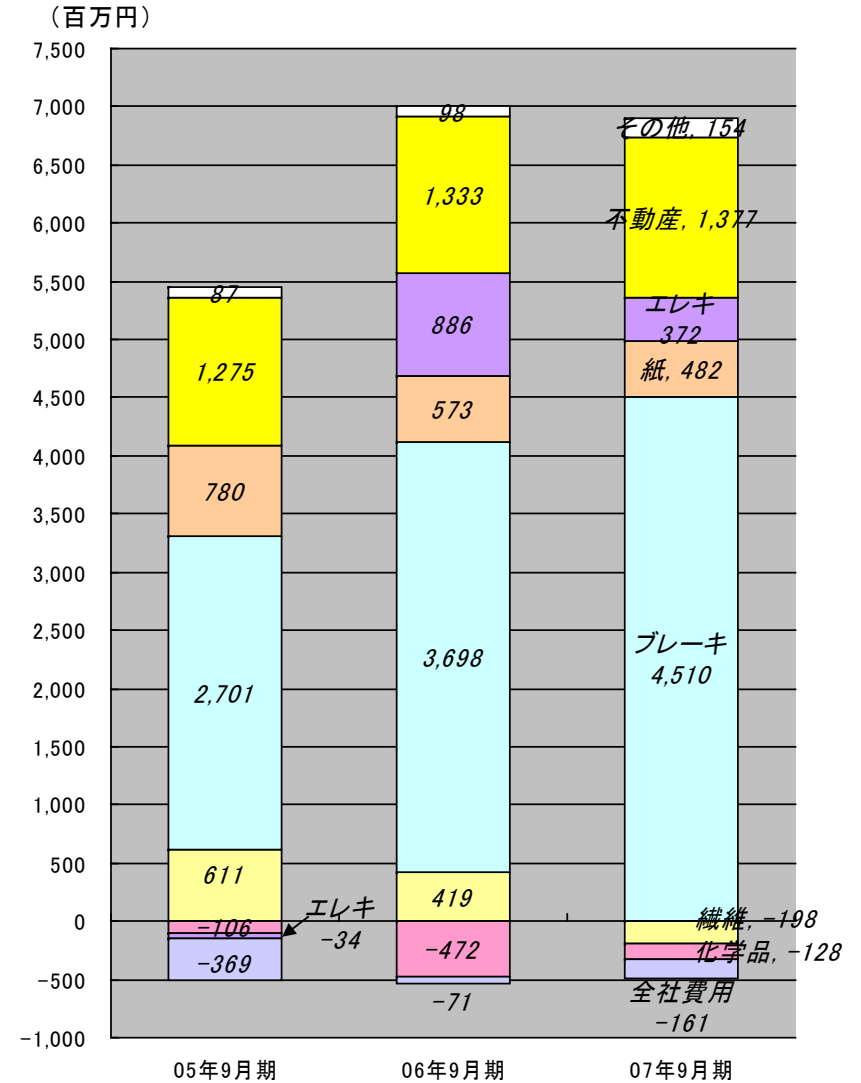
- 繊維:** ★ CHOYAの業績不振。  
日清紡単体も、シャツ地、婦人カジュアル向綿素材などが不振で減収。
- ブレーキ:** ★ 国内自動車生産台数減少も主要取引先の生産増、日系・韓国系カーメーカーの現地生産増加により増収。
- 紙:** ★ 家庭紙(差別化商品・再生紙製品)、洋紙(大和紙工新規連結)ともに増収。
- 化学品:** ★ タイのプラスチック成形海外子会社好調。  
★ ウレタン・カーボン是不採算品からの撤退により減収。
- エレクトロニクス:** ★ マイクロ波応用製品(衛星通信用コンポーネント)の需要沈静化などにより減収。



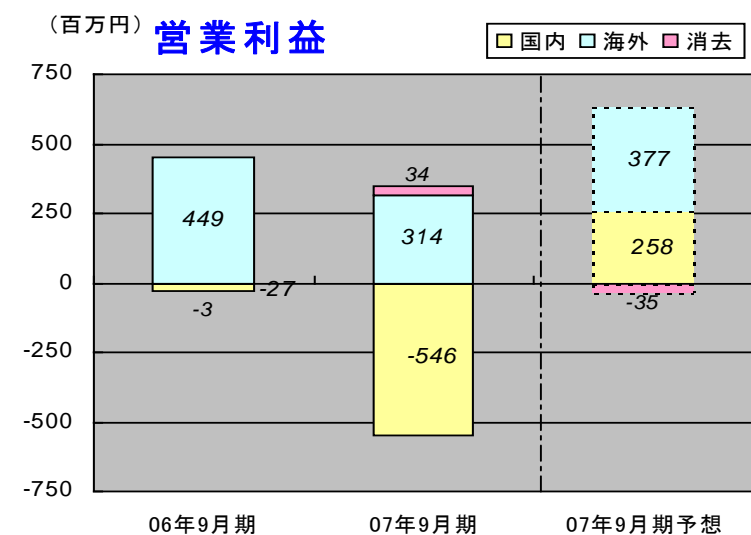
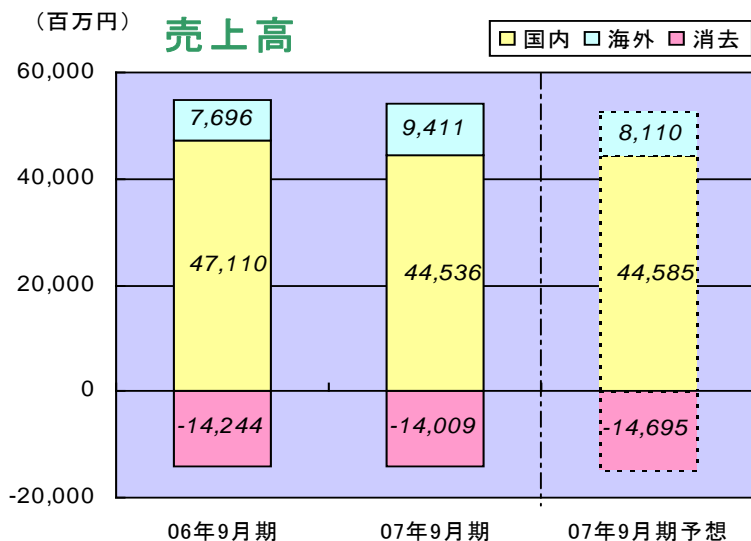
# セグメント別営業利益

	2005年 9月期	構成比 (%)	2006年 9月期	構成比 (%)	2007年 9月期	構成比 (%)
繊維	611	12.3	419	6.5	△198	△3.1
ブレーキ	2,701	54.6	3,698	57.2	4,510	70.4
紙	780	15.8	573	8.9	482	7.5
化学品	△106	△2.1	△472	△7.3	△128	△2.0
エレクトロニクス	△34	△0.7	886	13.7	372	5.8
不動産	1,275	25.8	1,333	20.6	1,377	21.5
その他	87	1.8	98	1.5	154	2.4
全社費用	△369	△7.5	△71	△1.1	△161	△2.5
営業利益計	4,947	100	6,466	100	6,407	100

- 繊維:** ★ 日清紡・繊維事業、CHOYAの収益回復遅れ。  
ニワテキスタイルは燃料コストアップなどにより減益。
- ブレーキ:** ★ 原・材料値上がり、償却費増などコストアップ要因あるも、海外は米国子会社の収益改善などにより大幅増。
- 紙:** ★ 原料・燃料費アップなどにより減益。  
家庭紙製品は一部価格改定により若干の改善。
- 化学品:** ★ ウレタンは生産拠点集約と製品絞込みにより収益改善。  
開発事業は先行投資が続き赤字継続。
- エレクトロニクス:** ★ マイクロ波応用製品の不振などにより減益。



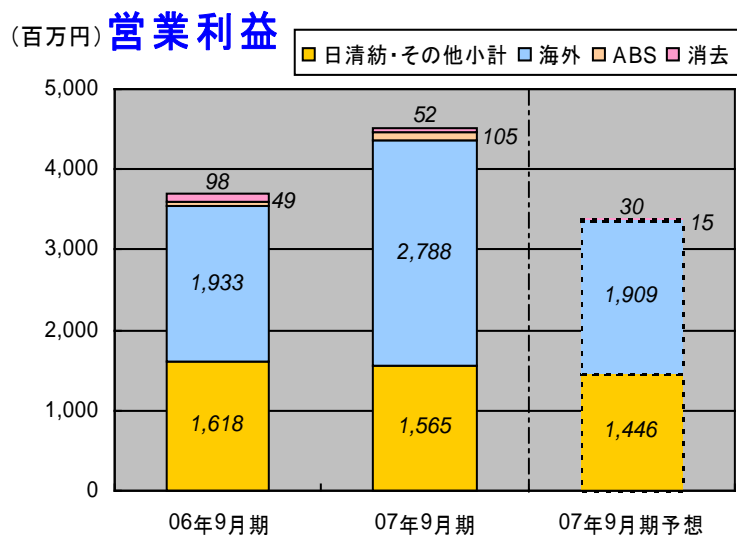
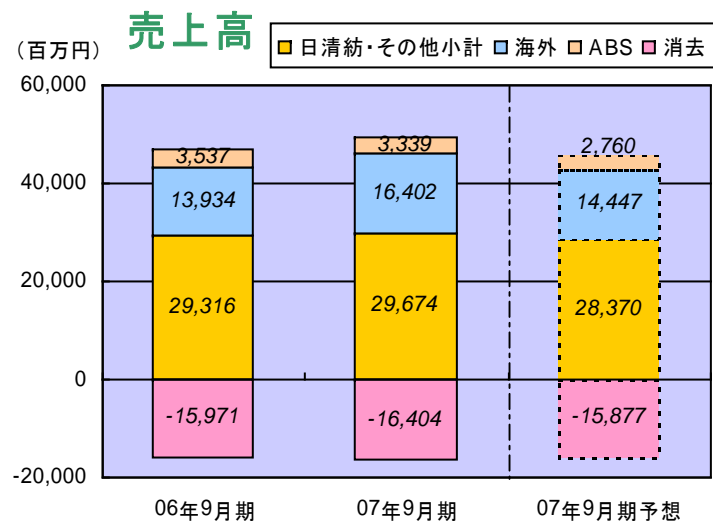
# 繊維事業



	2006年9月期		2007年9月期		2007年9月期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	26,494	△ 188	23,999	△ 384	24,200	84
CHOYA	6,194	50	5,602	△ 362	6,300	70
その他※	14,422	111	14,935	200	14,085	104
国内計	47,110	△ 27	44,536	△ 546	44,585	258
ブラジル日清紡	2,239	307	2,398	206	2,086	193
ギステックス	1,438	14	1,722	88	1,604	48
ニカワテックス	2,703	131	3,344	△ 68	2,760	100
日清紡上海	1,182	14	1,753	59	1,495	29
P.T.ナイガイシャツ	134	△ 17	194	29	165	7
海外計	7,696	449	9,411	314	8,110	377
小計	54,806	422	53,947	△ 232	52,695	635
消去	△ 14,244	△ 3	△ 14,009	34	△ 14,695	△ 35
合計	40,562	419	39,938	△ 198	38,000	600

※…ニッシン・トーア、日新デニム他

# ブレーキ事業



	2006年9月期		2007年9月期		2007年9月期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	14,988	1,441	15,274	1,409	14,570	1,336
その他 <sup>※1</sup>	14,328	177	14,400	156	13,800	110
小計	29,316	1,618	29,674	1,565	28,370	1,446
ABS	3,537	49	3,339	105	2,760	15
国内計	32,853	1,667	33,013	1,670	31,130	1,461
海外 <sup>※2</sup>	13,934	1,933	16,402	2,788	14,447	1,909
小計	46,787	3,600	49,415	4,458	45,577	3,370
消去	△ 15,971	98	△ 16,404	52	△ 15,877	30
合計	30,816	3,698	33,011	4,510	29,700	3,400

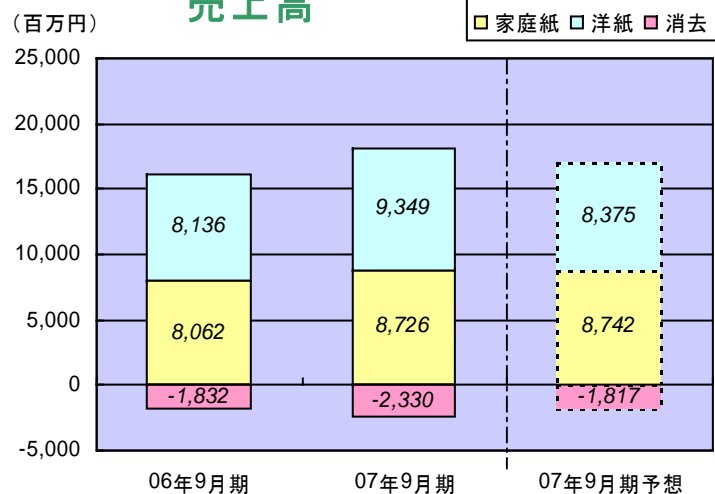
※1… 日清紡ブレーキ販売

※2… 日清紡オートモーティブ(米国)他

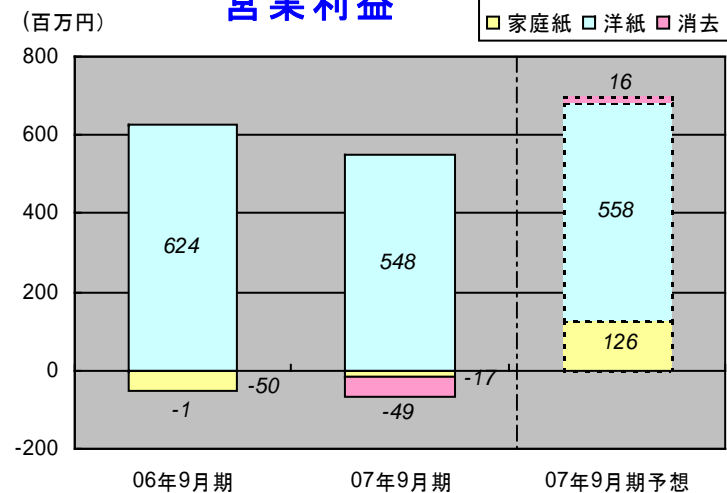


# 紙製品事業

## 売上高



## 営業利益

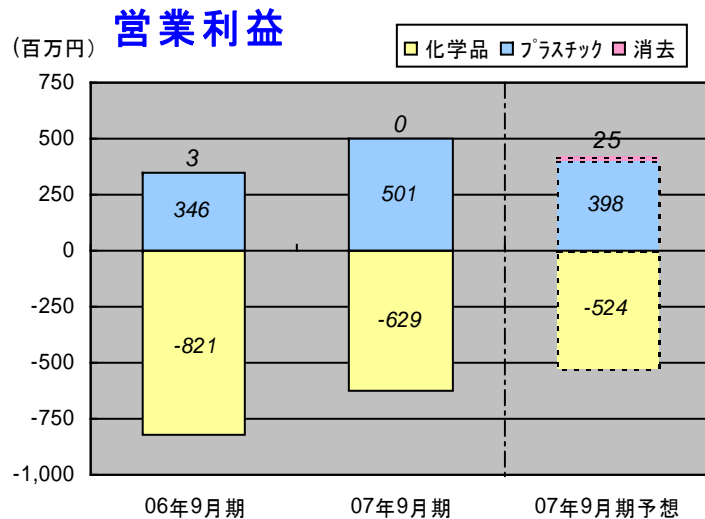
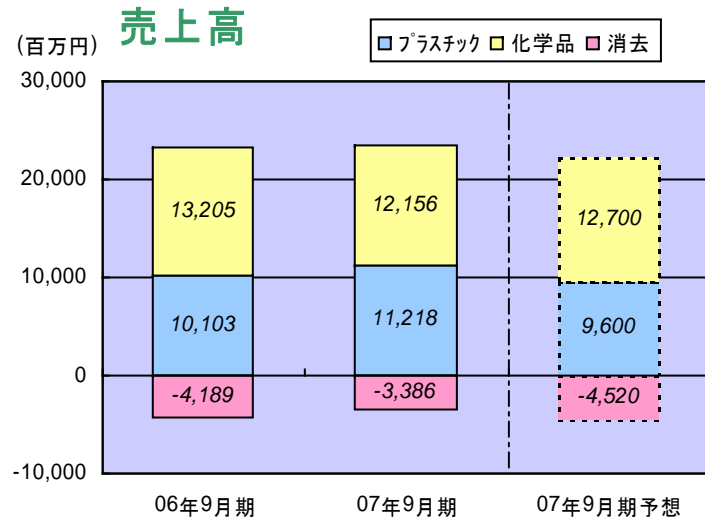


	2006年9月期		2007年9月期		2007年9月期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	5,823	△ 107	5,910	△ 74	6,150	100
その他 <sup>※1</sup>	2,239	57	2,816	57	2,592	26
家庭紙計	8,062	△ 50	8,726	△ 17	8,742	126
日清紡	5,802	592	5,823	480	5,850	495
その他 <sup>※2</sup>	2,334	32	3,526	68	2,525	63
洋紙計	8,136	624	9,349	548	8,375	558
小計	16,198	574	18,075	531	17,117	684
消去	△ 1,832	△ 1	△ 2,330	△ 49	△ 1,817	16
合計	14,366	573	15,745	482	15,300	700

※1…東海製紙他

※2…日清紡ポスタルケミカル、大和紙工

# 化学品事業



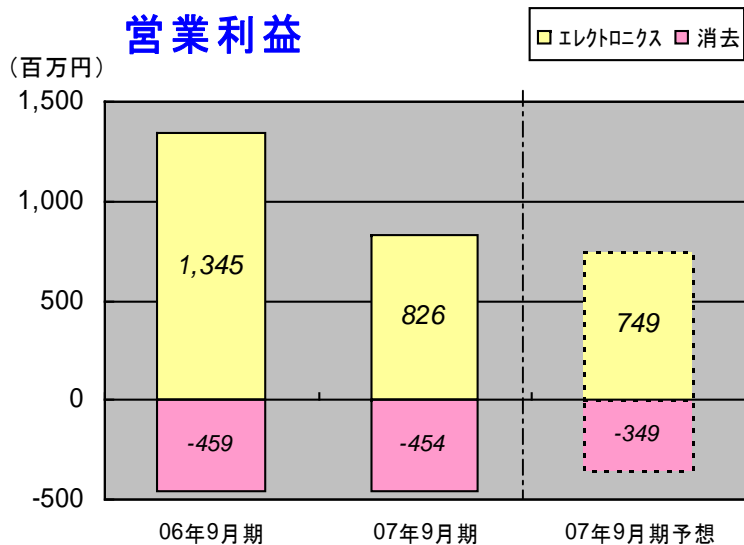
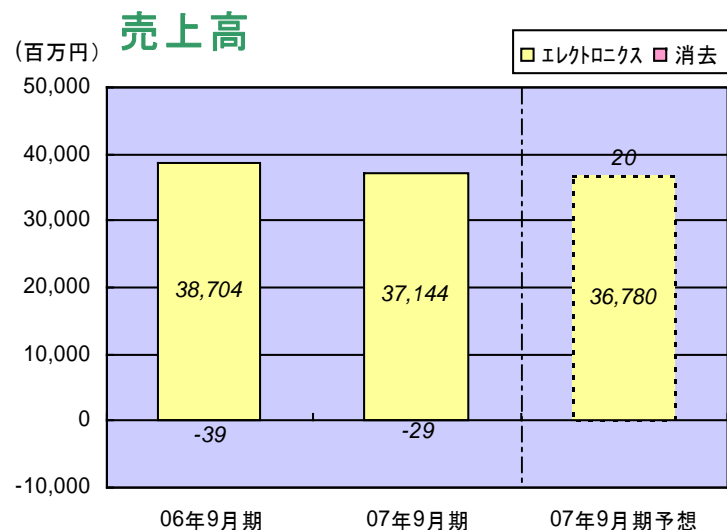
	2006年9月期		2007年9月期		2007年9月期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	5,645	△ 916	4,791	△ 683	5,400	△ 619
その他 <sup>※1</sup>	7,560	95	7,365	54	7,300	95
化学品計	13,205	△ 821	12,156	△ 629	12,700	△ 524
日本高分子	4,730	△ 72	4,452	△ 19	4,100	△ 20
タイ高分子	3,883	241	5,387	379	4,093	232
浦東高分子	1,490	177	1,379	141	1,407	186
プラスチック成形計	10,103	346	11,218	501	9,600	398
小計	23,308	△ 475	23,374	△ 128	22,300	△ 126
消去	△ 4,189	3	△ 3,386	0	△ 4,520	25
合計	19,119	△ 472	19,988	△ 128	17,780	△ 101

日清紡の内訳	2006年9月期		2007年9月期		2007年9月期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
開発事業	747	△ 940	897	△ 863	1,280	△ 901
ウレタン他	4,898	24	3,894	180	4,120	282

※1…岩尾他

※2…2007年4月1日付にて旧化成品事業本部と旧開発事業本部を統合し化学品事業本部を発足させました。2006年9月期の数字は化学品事業としての実績に組替えて表示しております。

# エレクトロニクス事業



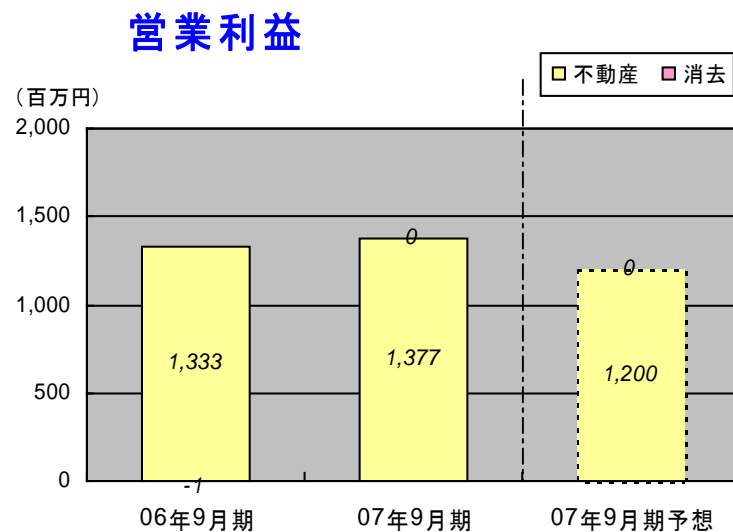
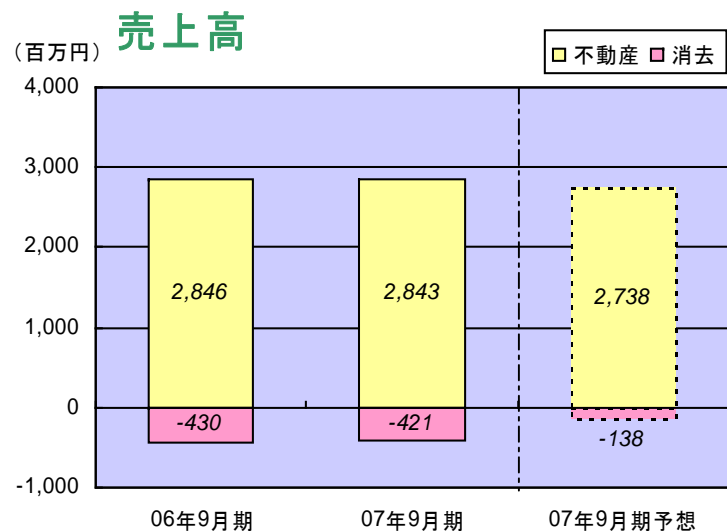
(百万円)

	2006年9月期		2007年9月期		2007年9月期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
新日本無線	31,389	1,325	30,129	772	30,000	800
その他 <sup>※1</sup>	7,315	20	7,015	54	6,780	△51
計	38,704	1,345	37,144	826	36,780	749
消去 <sup>※2</sup>	△39	△459	△29	△454	20	△349
合計	38,665	886	37,115	372	36,800	400

※1...上田日本無線

※2...のれん償却

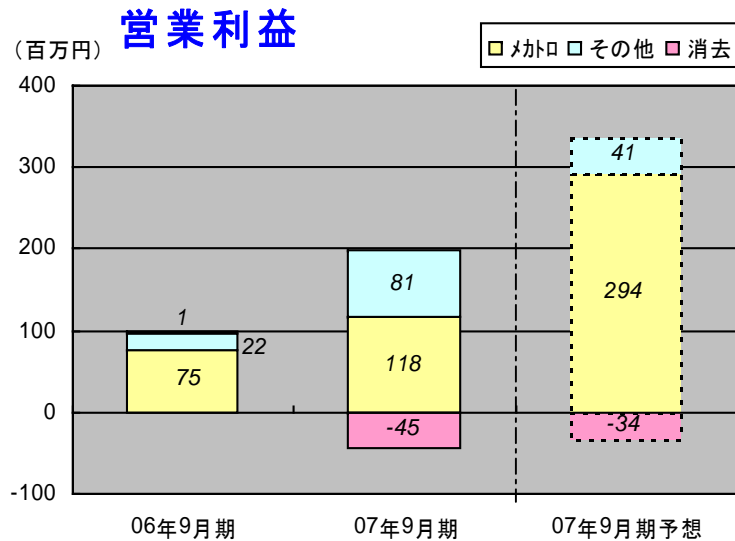
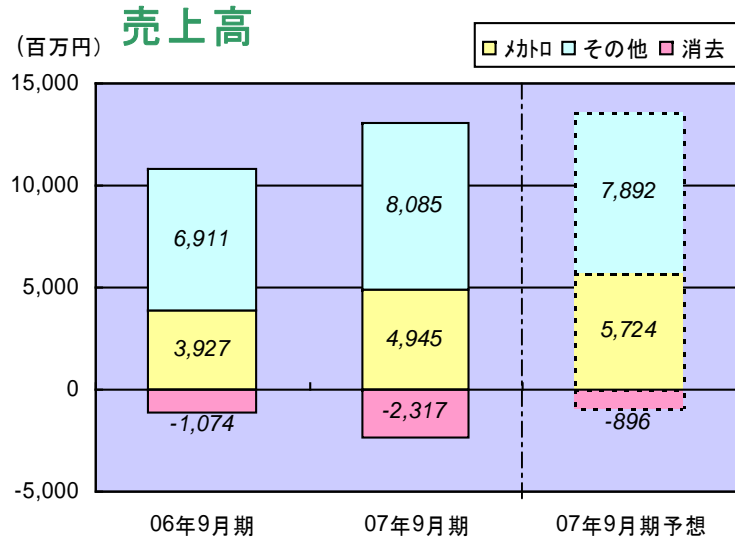
# 不動産事業



	2006年9月期		2007年9月期		2007年9月期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日清紡	1,853	1,128	1,800	1,090	1,743	1,001
その他 <sup>※</sup>	993	206	1,043	287	995	199
計	2,846	1,334	2,843	1,377	2,738	1,200
消去	△ 430	△ 1	△ 421	0	△ 138	0
合計	2,416	1,333	2,422	1,377	2,600	1,200

※…日清紡都市開発他

# その他事業



	2006年9月期		2007年9月期		2007年9月期予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
メカトロニクス	3,927	75	4,945	118	5,724	294
その他部門※1	6,911	22	8,085	81	7,892	41
計	10,838	97	13,030	199	13,616	335
消去	△ 1,074	1	△ 2,317	△ 45	△ 896	△ 34
合計	9,764	98	10,713	154	12,720	301

※1…ニッシン・トーア他

# 通期予想

	2008年3月期 修正予想	2008年3月期 期初予想	増減
売上高	315,000	315,000	+0
営業利益	15,500	15,500	+0
経常利益	20,500	20,500	+0
当期純利益	15,500	15,500	+0

◎売上高、営業利益、経常利益。当期純利益ともに期初予想に変更なし。

(売上高) (営業利益)

繊維事業は、日清紡繊維部門での不採算事業の整理、CHOYAの収益改善の遅れなどにより、期初予想を下回る見込み。

ブレーキ事業は、米国、タイ、韓国、中国の子会社の業績好調により増収・増益の見込み。

## 売上高

(百万円)

	2008年3月期 修正予想	2008年3月期 期初予想	増減
繊維	76,500	79,000	△2,500
ブレーキ	64,000	60,000	+4,000
紙	32,000	32,000	+0
化学品	38,500	34,800	+3,700
エレクトロニクス	77,000	78,500	△1,500
不動産	5,500	5,400	+100
その他	21,500	25,300	△3,800
売上高計	315,000	315,000	+0

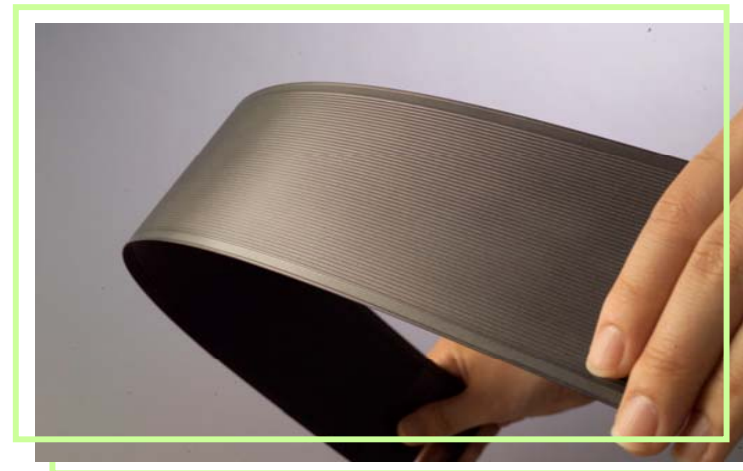
## 営業利益

(百万円)

	2008年3月期 修正予想	2008年3月期 期初予想	増減
繊維	300	2,100	△1,800
ブレーキ	9,200	7,000	+2,200
紙	1,300	1,500	△200
化学品	△100	50	△150
エレクトロニクス	1,300	1,400	△100
不動産	2,700	2,500	+200
その他	800	850	△50
全社	0	100	△100
営業利益計	15,500	15,500	+0

# 化学品事業 ① 燃料電池用セパレータ

- 燃料電池の主要部品
- 質・量ともに世界No.1のメーカー
- 出荷数量は倍々ペースで推移



## 実績および予想

- 通期売上高：前年比約2割増の見込み
- 品質向上・コストダウンのため、製造ラインの自動化を推進
- 2008年度、生産能力を倍増予定

世界トップシェアをキープする

NISSHINBO

## 化学品事業 ② 高機能性樹脂素材「カルボジライト」

- 独自に開発したポリマー
- プラスチック等を高性能化する

### 唯一の低毒性添加剤

- 電子材料用接着剤
- ポリ乳酸改質剤
- 塗料用架橋剤



### 実績および予想

- 通期売上高: 前年比約5割増の見込み
- 用途拡大、徳島工場の設備増強を検討
- 2009年度には売上高50億円を見込む

**2015年に500億円の売上高を目指す**



## 化学品事業 ③ 電気二重層キャパシタ

- キャパシタ事業部発足
- ハイパワー型を開発
- 千葉工場に生産設備を増設



### 実績および予想

- 搬送装置メーカー向けに本格供給
- 建機メーカー向けで実機評価中
- 急展開する自動車用途で事業拡大
  - ・実車搭載用の設計・試作が進行中
  - ・具体的用途で開発が進行中

**1000億円以上の市場で勝つ**

(繊維製品)

# 日清紡グループの製品(1)

(ブレーキ製品)



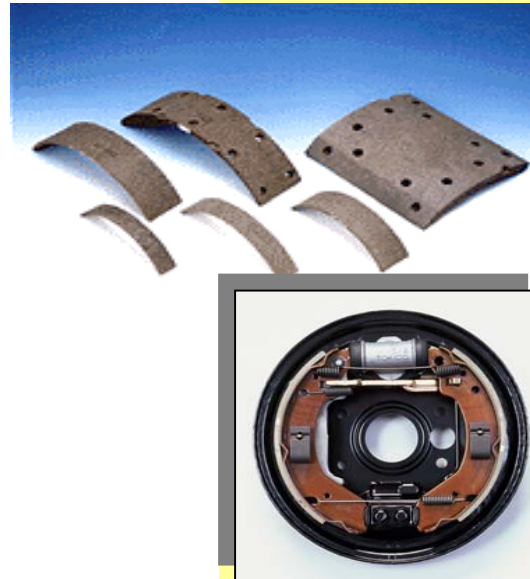
## シャツ事業

綿100%のノーアイロンシャツ「ノンケア」を幅広く展開。写真は、CHOYAの“シャツファクトリー”ブランドのドレスシャツ。



## デニム事業

糸からの一貫生産メーカー。品質・素材開発に強み。



## ブレーキライニング & アッセンブリー

ブレーキライニングは、ドラムブレーキ用の摩擦材。軽自動車から大型トラック・バスまで幅広く採用されている。



## ディスクパッド & アッセンブリー

ディスクパッドは、ディスクブレーキに装着される摩擦材。普通乗用車をはじめ、軽自動車、スポーツカー、トラックなどの大型車用まで幅広くラインナップしている。

(ABS・ESC)

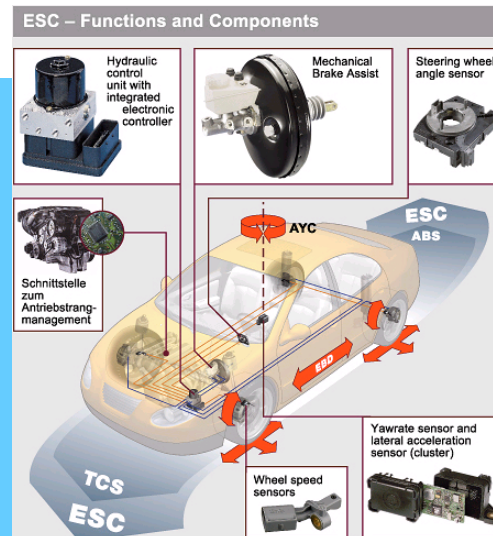
# 日清紡グループの製品(2)



## ESC(エレクトロニック・スタビリティ・コントロール)

当社ABS(アンチロック・ブレーキ・システム)製品は、CAC※へ事業移管中。ESCはABSを進化させた自動車用制御システムで、すべりやすい路面でハンドルをきっても、安定した走りを得ることができる。自動車装着率は欧州・米国が先行しているが、今後日本市場でも装着率向上が期待されている。

※CAC:コンチネンタル・オートモティブ株式会社(コンチネンタル・ターベス(株)から社名変更)。独コンチネンタルAGとの合併会社で、持分法適用会社に属する。



(紙製品)



## ティッシュ「コットンフィール」シリーズ

やわらかな肌触りのロングセラー「コットンフィール」(左)

ボリューム感たっぷりの3枚重ね。まるでピュアコットンそのもののようなやわらかさ...「コットンフィール ファイン」(上)



## パッケージング サービス

新たにグループに加わった大和紙工の製品。高級感と、デザイン性の高い演出が可能なダイワオリジナルの“ダイカットBOX”。高級贈答菓子から化粧品まで幅広いお客様にご愛顧いただいている。

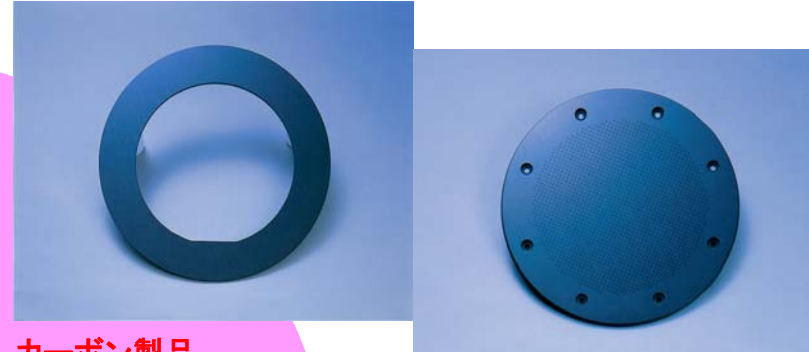
# 日清紡グループの製品(3)

(化学品)



## 断熱材

「エアライトフォーム」は、硬質ウレタンの断熱材。優れた断熱性を生かし、冷凍船・冷凍コンテナ等のコールドチェーン関連、LNG、LPGの超低温プラント関連及び住宅設備、建築関連など幅広く使用されている。



## カーボン製品

独自開発のガラス状(アモルファス)カーボンは、従来の炭素材料と異なり、気孔のない緻密な等方性組織が特長。半導体製造のエッチング工程における電極などとして利用されている。



防水用シーリングテープ使用例

## エラストマー

弊社独自の技術で開発した熱可塑性ポリウレタンエラストマー(TPU)「モビロン」は、世界的なブランドである。テープやコード状など多様な形状に成形可能で、衣料はじめ幅広い用途に使用されている。



## プラスチック成形加工

連結子会社の日本高分子グループでは、空調機器などに使用されるファンを製造している。回転体技術や空体力学を駆使して、風量・風圧・騒音・回転数など、バランスのとれた製品を開発し、プラスチックファン業界のトップシェアを握っている。

# 日清紡グループの製品(4)

(エレクトロニクス製品)



(グループ会社の製品例)

日本無線(株)  
船舶用レーダー



アロカ(株)  
超音波診断装置



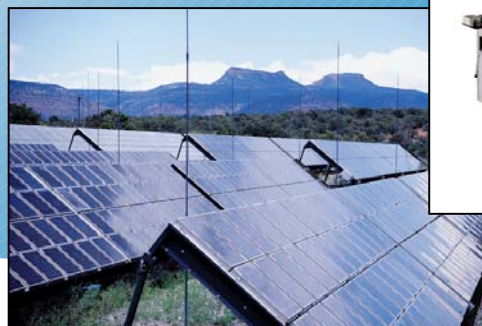
(不動産)



アリオ西新井ショッピングセンター

旧東京工場跡地に、2007年11月9日オープンした。イトーヨーカドーをキーテナントに111の専門店からなる。

(メカトロニクス製品)



ソーラー・シミュレータ

太陽電池パネル製造工程の検査設備。ラミネータとともに後工程設備を構成する。環境問題の深刻化に伴い、太陽電池及びその製造設備への需要は世界的に急増してきている。